庄内海岸林
再生プロジェクト通信　第６号

令和８年10月29日発行

庄内海岸林再生に向けた取組状況をお知らせします。

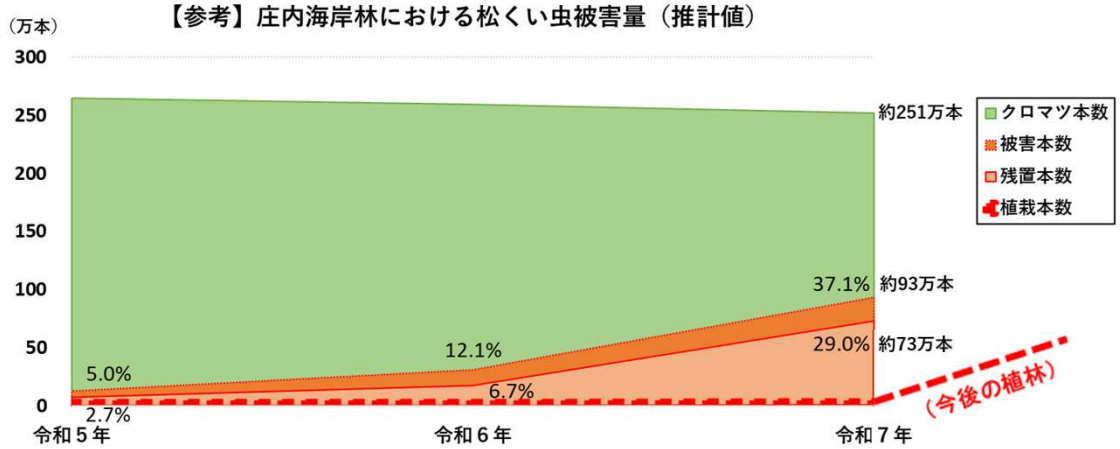
現状報告：松くい虫被害の可視化について

■松くい虫被害の現状と推計
ー 令和７年の累計被害木は約93万本（全体の約37%）に達する見込み ー

庄内海岸林における松くい虫被害の状況について、プロジェクト会議で推計を行いました。

令和７年時点の推計では、海岸林全体のクロマツ本数約251万本に対し、令和５年からの累計被害本数は約93万本（37.1%）に達するものと見込まれます。このうち令和７年度までに約20万本を伐採しましたが、被害木の約８割が残っている状況です。今年度も倒木等の危険がある箇所を優先して被害木の伐採を進めているところです。今後も息の長い取組みが必要となりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【参考】庄内海岸林における松くい虫被害量（推計値）



プロジェクトの詳細はこちら（県ＨＰ）をご覧ください👇

寄附募集の詳細はこちらから👇

サポーター募集の詳細はこちらから👇

📺プロジェクトの取組みがテレビで放映されました！

県政テレビで詳しく紹介されていますので、ぜひ映像でご覧ください。
番組名：「やまがたサンデー５」（山形放送）
再放送日時：10月31日（土）午前5時25分～5時40分
アーカイブをYoutubeで視聴できます。

各部会の現在地 ～それぞれの検討事項に関する各種活動を展開中～

1 森林再生部会

■二次被害対策推進チームの調整会議と合同パトロールを実施しました

二次被害対策推進の一環として、被害木の伐採と防風機能の維持を両立させるため、10月21日に行政間での調整会議と合同パトロールを実施しました。

会議では、「危険木マップ」等を用いての伐採箇所の調整を行いました。当日は悪天候のため合同パトロールは車上からの確認に留まりましたが、今後も定期的な合同パトロールを通じて、危険木の把握に努め、監視体制を強化してまいります。


（調整会議）


（合同パトロール）

1 森林再生部会

■被害木を伐採し、植栽を行う新たな事業（被害森林整備）について

令和８年度より、市や町が主体となって進める「被害森林整備（特定機能回復事業）」が新たに始まりました。

本事業は、森林病害虫等により被害のあった耕地そばなどの森林（民有林）であって、森林所有者だけでは適切な整備が期待できない森林において、行政と所有者が協定を結んで、被害木の伐採と植栽を行う事業です。

今年度は、鶴岡市と酒田市で実施が計画されており、現在、森林所有者の皆さまと調整を進めています。



（被害を受けた耕地そばの森林）

■庄内海岸林再生技術研修について（9/30）



（広葉樹調査の様子）

現在、森林再生部会では、自然に生えてきた広葉樹を活かし、将来にわたって持続可能な庄内海岸林の再生に向けた手法を検討しています。

9月30日、再生に携わる関係者が集まり、森林を役割ごとに区分する「ゾーニング」の考え方や、研究成果に基づいた森林再生の技術について学びました。

午前中の講義で知識を深めた後、午後は現地で広葉樹の調査や、クロマツとタブノキが共に育つ理想的な森林の姿を見学し、再生後の森林のイメージを共有しました。

2 出羽庄内公益の森づくり部会

◆光ケ丘地区森林整備ボランティア（秋季）の実施について（9/19）

酒田市光ケ丘公園において、今年２回目となる松林整備ボランティアを実施しました。

当日は、出羽庄内公益の森づくり部会の構成団体や近隣企業の方々など合計221名からご参加いただき、万里の松原において、自然に生えたミズナラなど広葉樹を活かすための下草刈りに汗を流しました。

皆様、ご協力ありがとうございました。



◆庄内海岸林サポーターを募集しています





（10月17日 合同会社ウッドラック様による植林活動）

現在、庄内海岸林サポーターとしてご登録いただける企業・団体を募集しています。

実際に、サポーターが主体となり、少年サッカー大会の参加者の皆さまとともにクロマツの苗木250本を植林するといった、独自の活動を企画されている事例もあります。

皆様のご登録をお待ちしております。

■発行■　庄内海岸林再生プロジェクト会議
出羽庄内公益の森づくり部会広報チーム
〒997-1392　山形県東田川郡三川町大字横山字袖東19番１号
山形県庄内総合支庁産業経済部
E-mail：yshonaishinrin@pref.yamagata.jp

山形県ホームページ　庄内総合支庁 Instagram　庄内総合支庁 Facebook